

6 歯科			
目標項目：6-1 3歳児の一人平均むし歯数の減少			
目標値 (平成22年)	ベースライン値 (H11 3歳児歯科 健康診査)	中間評価 (H17 3歳児歯科健 康診査)	直近値 (H21 3歳児歯科健 康診査)
1本以下	2.76本	1.93本	1.36本
直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン 値に対してどのような動き になっているか分析)	○平成11年と比較すると10年間で半減している。		
データ分析上の課題 (調査分析をする上での課題 や留意点がある場合に記載)	○目標年度は平成22年だが、直近値は平成21年の値となっている。		
その他データ分析に係る コメント	○全国の平均本数は、平成11年で1.67本、21年で0.87本であり、 全国よりも高いが、全国との差は低くなっている。		
最終評価及びコメント	○改善している		評価 B
今後の課題及び対策の抽出 (最終評価を踏まえ、今後強 化・改善等すべきポイント)	○適切な歯磨き習慣や、フッ化物応用などを今後一層推進していくこ とが必要である。		

6 歯科			
目標項目：6-2 80歳で20本以上歯を保持する割合の増加			
目標値 (平成22年)	ベースライン値 (H12 県民健康栄養 調査)	中間評価 (H18 県民健康・栄養 調査)	直近値 (H22 県民健康・栄養 調査)
75～84歳 20%以上	18.9%	26.9%	31.8%
直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン 値に対してどのような動き になっているか分析)	○平成12年から平成22年まで有意に増加した(片側P値=0.006)。		
データ分析上の課題 (調査分析をする上での課題 や留意点がある場合に記載)	○75～84歳で、自分の歯が「ぜんぶある(28本)」「ほとんどある(25～27本)」「だいたいある(20～24本)」の合計値を20本以上歯を保持する者の割合としている。		
その他データ分析に係る コメント	○全国値は、平成16年で23.0%、21年で26.8%であり、全国よりもい ずれも高い(全国調査では、75～84歳で自分の歯の本数を20本以 上と自記回答した者の割合)。		
最終評価及びコメント	○目標値に達した		評価 A
今後の課題及び対策の抽出 (最終評価を踏まえ、今後強 化・改善等すべきポイント)	○目標には達したが、今後一層歯の喪失を防ぐため、乳幼児期から歯 周病や歯予防が一層進むよう、歯科保健に関するポピュレーショ ンアプローチを強化していく必要がある。		

6 歯科			
目標項目：6-3 かかりつけ歯科医を持つ割合の増加			
目標値 (平成 22 年)	ベースライン値 (H12 県民健康栄養 調査)	中間評価 (H17 県民健康調査)	直近値 (H22 県民健康・栄養 調査)
成人 70%以上	42.0%	47.8%	56.5%
直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン 値に対してどのような動き になっているか分析)	○平成 12 年から平成 22 年まで有意に増加した (片側 P 値<0.001)。		
データ分析上の課題 (調査分析をする上での課題 や留意点がある場合に記載)	○平成 17 年の結果は、仙台市以外の地区で実施した調査である。		
その他データ分析に係る コメント	○男女別にみると、女性のほうがかかりつけ歯科医を持つ割合が高かった (平成 22 年調査結果：男性 48.2%，女性 64.0%)。 ○年齢階級別にみると、20～60 歳代にかけては、年代があがるごとにかかりつけ歯科医を持つ割合が増加していた (平成 22 年度調査結果：20 歳代 43.7%，30 歳代 49.5%，40 歳代 51.9%，50 歳代 56.5%，60 歳代 66.4%，70 歳以上 63.9%)。		
最終評価及びコメント	○改善した		評価 B
今後の課題及び対策の抽出 (最終評価を踏まえ、今後強 化・改善等すべきポイント)	○かかりつけ歯科医を持つ割合の少ない若い世代に対し、定期的な歯科健診や歯石除去等の必要性を普及啓発し、かかりつけ歯科医を持つことについての普及活動を行っていく必要がある。		